

令和 8 年度

斜面防災主任技能者試験

受験の手引き

令和 8 年 3 月

一般社団法人 斜面防災対策技術協会

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4 (砂防会館別館 3 F)

電話 (03)6272-6222

FAX (03)6272-6225

<https://www.jasdim.or.jp>

E-mail : ginousya@jasdim.or.jp

目 次

令和 8 年度斜面防災主任技能者試験スケジュール表	1
I. 受験資格	2
II. 試験内容について	2
III. 受験申込に必要な書類	2
IV. 受験関係書類提出先 E メールアドレス	2
V. 申込書類の作成方法	2
VI. 受験料	8
VII. 受験にあたっての注意事項	8
VIII. 斜面防災主任技能者の登録及び登録料	9
IX. その他の注意事項	9
斜面防災主任技能者試験願書等チェックリスト	10

令和8年度斜面防災主任技能者試験

スケジュール表

1. 受験受付：令和8年4月1日(水)～5月14日(木)
 - ・受験願書は、協会ホームページから書式をダウンロードし、Eメールにて提出してください。(ginousya@jasdim.or.jp)

 2. 受験票郵送：6月10日(水)までに発送します(普通郵便)。
 - ・受験票は、ハガキで郵送
 - ・6月16日(火)までに届かない場合は、本部事務局までEメールで問い合わせください。(ginousya@jasdim.or.jp)
 - ・試験会場は、協会ホームページで確認してください。

 3. 試験実施：令和8年6月20日(土)10時30分から開始します。

 4. 試験結果発表：令和8年7月13日(月)(予定)
 - ・合格者には合格証及び斜面防災主任技能者登録案内を同封して発送します(普通郵便)。
 - ・協会ホームページに合格者の受験番号を掲載します。

 5. 斜面防災主任技能者登録申請期限：令和8年7月24日(金)までにEメールにて提出してください。(ginousya@jasdim.or.jp)

 6. 斜面防災主任技能者登録証送付：令和8年9月中旬
 - ・登録証(カード)同封
- その他
- ・協会ホームページのURLは<https://www.jasdim.or.jp>
 - ・検索サイトでは“斜面協会”で検索可能

I. 受験資格

斜面防災主任技能者試験の受験資格は、**斜面防災工事**に関する**5年以上の実務経験年数**を有する者で、このうち**1年以上の工事の施工に関する指導監督的経験**を有することが必要です。

「斜面防災工事」とは、「地すべり等防止法」に定められた地すべり防止施設、「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」に定められた急傾斜地崩壊防止施設、雪崩対策施設、その他地域の開発、災害等に関連して発生する斜面や法面の変状対策のための施設を施工する工事をいいます。

※指導監督的経験とは。職長・班長等として部下を指導又は監督し、施工管理等に従事した実務経験をいいます。また、実務経験には、単なる庶務、会計それらに類する事務に関する経験は含みません。

II. 試験内容について

10:30～12:00 90分

多肢選択式・四択

斜面防災工事に関する一般、関係法令、工事の施工管理、工程管理、品質管理、安全管理等についての知識を確認します。

必須問題 10問（斜面防災工事に関する一般、関係法令）

選択問題 20問中10問選択（工事の施工管理、工程管理、品質管理、安全管理等）

III. 受験申込に必要な書類

申込みに必要な書類は、次のとおりです。

(1) **斜面防災主任技能者試験受験願書** 所定のもの (PDF)

(2) **実務経験証明書** 所定のもの (PDF)

(3) **住民票 (抄本)** (PDF)

・2ヶ月以内発行のもの
・本籍記載のないものでよい

(4) **顔写真電子データ** (JPEGで解像度は350dpi程度)

※受験申込みに必要な書類に記載された個人データにつきましては、斜面防災主任技能者試験の事務以外には使用いたしません。

IV. 受験関係書類提出先 E メールアドレス

ginousya@jasdim.or.jp

V. 申込書類の作成方法

受験の申込は、以下の要領により申込んでください。なお、記載内容の確認および添付書類等を忘れないように十分注意してください。

1. 受験願書は、当協会ホームページの「斜面防災主任技能者試験受験申込」フォームより、以下の手順に従って作成してください。

①「受験申込書類」から、PDF版、EXCEL版のどちらかを選択してダウンロードする。

②ダウンロードした書式に従って、願書及び実務経験証明書を作成する。

※PDF版は手書きです。EXCEL版は直接入力できます。

2. 上記により作成した「斜面防災主任技能者試験受験願書」「実務経験証明書」に前述「Ⅲ. 受験申込に必要な書類」に記載の書類をPDFにして、当協会宛にEメールにて提出してください。

(ginousya@jasdim.or.jp)

3. 願書記載の「氏名」の漢字が常用漢字にない場合は、願書出力後に氏名欄の余白部分に赤字で、正式な字を記入してください。

4. 願書の実務経験年数と実務経験証明書の記載事項、年月数と相違ないように注意してください。

5. 願書に添付する写真は次のとおりです。

①証明用カラー写真と同様のものとし、スナップ写真は不可

②脱帽、正面上半身のもの

③撮影後3ヶ月以内のもの(厳守)

④写真撮影の場合は、背景にも注意してください。

⑤不鮮明なもの、サングラス着用等受験者本人の顔かたちと著しく異なる場合は、受験できなくなります。

⑥登録証の顔写真は、受験願書の写真を使用します。

⑦メールに添付する顔写真電子データは、JPEGで解像度は350dpi程度とし、ファイル名に氏名をお書きください。容量は2Mまでとしてください。

○願書記入上の注意事項

1. 郵便物が確実に届くよう住所等の表記は詳細にご記入ください。

2. 申込書類と住民票の氏名・住所は必ず同一のものを記入してください。

※欄は入力しないでください。

記載例 1

※登録番号

斜面防災主任技能者試験受験願書

私は斜面防災主任技能者試験を受験したいので関係書類を添えて申し込みます。			
令和 8 年 4 月 10 日			
氏名		防災 次郎	
(一社) 斜面防災対策技術協会 会長殿			
フリガナ	ボウサイ ジロウ		
氏名	防災 次郎		
生年月日	昭和 53 年 月 日 (男)		
自宅電話番号	03-1234-5678		
自宅住所	〒 102-0093		
	フリガナ	トウキョウト チヨダク ヒラカワチョウ	
	東京都千代田区平河町2-7-4		
	サボウカイカン		
	301		
所属名	フリガナ	シャメンボウサイタイサクカブシキガイシャ	トウキョウシテン
<small>現在勤務している所属等について、支店名・部署までは記入しない場合は「なし」と記入。</small>	所属名	斜面防災対策株式会社	
	支店名	東京支店	
	部署名	工事課	
所属電話番号	03-5678-1234		
所属住所	〒 105-0041		
	フリガナ	トウキョウト チヨダク ヒラカワチョウ	
	東京都千代田区平河町2-7-4		
	サボウカイカン		
	301		
日中の連絡先	<input type="checkbox"/> 所属 <input type="checkbox"/> 自宅 <input checked="" type="checkbox"/> その他(携帯など) 090-1234-5678		
メールアドレス	syamen@jasdim.or.jp		
書類送付先	<input checked="" type="checkbox"/> 所属 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> その他(〒)		
実務経験年数	左記のうち指導監督の実務経験年数 10 年 9 ヶ月 (3 年 2 ヶ月)		
希望受験地	<input type="checkbox"/> 札幌 <input type="checkbox"/> 仙台 <input checked="" type="checkbox"/> 東京 <input type="checkbox"/> 新潟 <input type="checkbox"/> 富山 <input type="checkbox"/> 金沢 <input type="checkbox"/> 長野 <input type="checkbox"/> 静岡 <input type="checkbox"/> 名古屋 <input type="checkbox"/> 神戸 <input type="checkbox"/> 岡山 <input type="checkbox"/> 高松 <input type="checkbox"/> 福岡		

※整理番号

実務経験証明書の作成方法

(よくお読みになってから記入してください。)

1. 実務経験年数は受験申込み日現在で記入してください。
2. 勤務先の事業主等の記名・押印(公印)が必要です。勤務先が倒産等で、当時の事業主等の証明がとれない場合は、現在の事業主の証明でも結構です。
3. 従事の期間は、重複は認めませんので期間の重複に注意して記入してください。(例えば、H28年4月～7月までの4ヶ月間と、H28年6月～12月までの7ヶ月間の場合の実務経験年数は、重複の6・7月の2ヶ月間分を除き9ヶ月となります。)

記入後、重複期間がないか必ず確認をしてください。

4. 工事箇所の地先がわかるように記入してください。(例. ○○県○○郡○○町地先)
5. 実務経験欄下段の「主な業務内容」には、集排水ボーリング工、アンカー工、抑止杭工、法面工などをご記入ください。法面工については法枠工、コンクリート吹付工等具体的にご記入ください。

※実務経験として評価される「斜面防災工事」とは、「地すべり等防止法」に定められた地すべり防止施設、「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」に定められた急傾斜地崩壊防止施設、雪崩対策施設、その他地域の開発、災害等に関連して発生する斜面や法面の変状対策のための施設を施工する工事をいいます。

※欄は入力しないでください。

記載例 2-1

※ 受験番号	※ 整理番号
--------	--------

実務経験証明書

下記の受験申請者の実務経験の内容は、下記のとおりであることを証明します。

一般社団法人斜面防災対策技術協会 会長 殿

令和 8 年 4 月 10 日

(証明者) 会社名 斜面防災対策株式会社
 役職名 取締役社長
 氏名 斜面 太郎



受験申請者	氏名	防災 次郎	証明者との関係	社長と社員
実務経験				
従事の期間	(上段)	工事名	(上段) 所属機関	
	(中段)	所在地	(下段) 指導監督的 実務経験表示	
	(下段)	主な業務内容		
H 14 年 9 月 から H 15 年 8 月 まで 12 ヶ月間	平成〇〇年度 地すべり防止山腹工事(1) 〇〇県〇〇市〇〇町地先 大口径杭挿入工		斜面防災対策㈱	
H 15 年 11 月 から H 16 年 4 月 まで 6 ヶ月間	山野地区地すべり防止工事 その1 〇〇県〇〇市〇〇町地先 集水井工		斜面防災対策㈱	
H 16 年 6 月 から H 17 年 7 月 まで 14 ヶ月間	平成〇〇年度 地すべり防止工事 川井地区 その2 〇〇県〇〇市〇〇町地先 集排水工事		斜面防災対策㈱	
H 17 年 10 月 から H 17 年 12 月 まで 3 ヶ月間	平成〇〇年度 地すべり防止(溪)工事(3) 〇〇県〇〇市〇〇町地先 ライナープレート集水井工事		斜面防災対策㈱	
H 18 年 1 月 から H 18 年 9 月 まで 9 ヶ月間	〇〇地区 地すべり防止工事 〇〇県〇〇市〇〇町地先 大口径杭挿入工		斜面防災対策㈱	
H 18 年 10 月 から H 19 年 3 月 まで 6 ヶ月間	緊急特別災害対策防止工事 〇〇県〇〇市〇〇町地先 鋼管杭挿入工		斜面防災対策㈱	

記載例 2-2

H 19 年 4 月 から	山野地区 地すべり防止工事 その2	斜面防災対策棟
H 19 年 12 月 まで	〇〇県〇〇市〇〇町地先	
9 ヶ月間	大口径杭打、頭部連結、排水工	
H 20 年 1 月 から	〇〇地区 地すべり防止工事	斜面防災対策棟
H 20 年 3 月 まで	〇〇県〇〇市〇〇町地先	
3 ヶ月間	大口径杭挿入工	
H 20 年 4 月 から	特補 地すべり防止対策工事 第二工区	斜面防災対策棟
H 20 年 8 月 まで	〇〇県〇〇市〇〇町地先	
5 ヶ月間	集水井、集排水工事	
H 20 年 9 月 から	大沢井地区 地すべり防止対策工事 第四工区	斜面防災対策棟
H 21 年 3 月 まで	〇〇県〇〇市〇〇町地先	
7 ヶ月間	排水坑、杭打工	
H 21 年 4 月 から	中之瀬地区 地すべり防止工事	斜面防災対策棟
H 21 年 9 月 まで	〇〇県〇〇市〇〇町地先	
6 ヶ月間	杭挿入、法面アンカー工、集水井工	
H 21 年 10 月 から	緊急対策防止工事	斜面防災対策棟
H 22 年 6 月 まで	〇〇県〇〇市〇〇町地先	
9 ヶ月間	杭打工、法面保護工	
H 22 年 7 月 から	平成〇〇年度 中ノ浦地区 地すべり防止工事	斜面防災対策棟
H 22 年 10 月 まで	〇〇県〇〇市〇〇町地先	
4 ヶ月間	集排水工、暗明きょ工	
H 26 年 11 月 から	平成〇〇年度 地すべり防止工事	斜面防災対策棟
H 27 年 10 月 まで	〇〇県〇〇市〇〇町地先	
12 ヶ月間	集水井工、集排水ボーリング工、水路工	職長
H 29 年 4 月 から	緊急特別災害対策防止工事	斜面防災対策棟
H 30 年 3 月 まで	〇〇県〇〇市〇〇町地先	
12 ヶ月間	鋼管杭挿入工	職長
R 5 年 4 月 から	平成〇〇年度 地すべり防止(溪)工事	斜面防災対策棟
R 6 年 3 月 まで	〇〇県〇〇市〇〇町地先	
12 ヶ月間	ライナープレート、集水井工事	職長
実務経験計	10 年 9 ヶ月	3 年 2 ヶ月

VI. 受験料

一般	11,000 円（税込み）
協会正会員企業に所属する者	5,500 円（税込み）

受験料は、①または②のいずれかの方法でお支払いください。

①郵便局のある払込取扱票（青色）を使用する場合

口座番号・記号：00140- 6 -52472

加入者名：一般社団法人 斜面防災対策技術協会

※『通信欄・ご依頼人』欄に必ず受験者の住所、氏名、連絡先電話番号、（所属がある場合は）所属名を記入してください。

※複数名分をまとめて払込む場合は、受験者全員の氏名を『通信欄・ご依頼人』欄に記入するか、Eメールで受験者全員の氏名をご連絡ください。（ginousya@jasdim.or.jp）

②他金融機関 ATM およびネットバンクから振込む場合

ゆうちょ銀行（9900）〇一九（ゼロイチキュウ）店（019）

当座預金

口座番号：0052472

口座名義：一般社団法人 斜面防災対策技術協会

（注）当協会からは別途領収書は発行致しませんので、必ずご自分で控え等をお取りください。
また、インボイスの関係で領収書を必要とする場合はEメールにてご連絡ください。

VII. 受験にあたっての注意事項

- (1) 受験者は、試験開始の20分前までに試験場に入場し、受験番号によって指定された席につき、受験票を机の上に置いてください。
- (2) 試験場には、受験票及び筆記用具を必ず持参してください。ただし、筆記用具は鉛筆(H、F、HB)、消ゴム、鉛筆削りに限ります。
- (3) 不正手段を用いた受験者については、即刻試験を中止させ退場させます。
- (4) 答案用紙には、受験番号を必ず記入してください。なお、退出するときは、試験問題等はお持ち帰りください。スマートウォッチは使用禁止です。
- (5) 試験の実施については、係員の指示に従ってください。
- (6) 受験票を忘失された方は、必ず受付にお申し出てください。
- (7) 喫煙は、指定の場所以外のところでは厳禁です。
- (8) 試験開始30分以内は退出できません。前記以外の時間に退出しようとする方は挙手をして係員の許可を受けるようにしてください。
- (9) 試験中の携帯電話の使用は禁止します。

VIII. 斜面防災主任技能者の登録及び登録料

斜面防災主任技能者となるには、試験に合格した後、協会に登録申請し、登録料を納付後、斜面防災主任技能者登録簿に登録されることが必要です。

試験合格者の登録申請期限は、令和8年7月24日（金）までです。申請書受理後約2ヶ月で登録を完了し、斜面防災主任技能者登録証(カード)を交付します。

※登録料

一般	11,000円（税込み）
協会正会員企業に所属する者	5,500円（税込み）

また、登録後、氏名、自宅住所、所属会社等を変更した場合は、遅滞なく協会に届出てください。

IX. その他の注意事項

- (1) 受験関係書類を提出してから住所を変更した者は、協会にすみやかに文書で連絡してください。
- (2) 受験票は、6月10日（水）までに郵送します。**6月16日（火）までにお手もとに到着しない場合は本部事務局にEメールでお問合せください。(ginousya@jasdim.or.jp)**
- (3) 受験料並びに提出書類は原則として返却いたしません。提出書類のうち必要なものは必ず控えを保管ください。
- (4) 試験についての照会等には協会本部で受付けます。

斜面防災主任技能者試験願書等チェックリスト

☆送付前に以下の項目を必ず確認してください。

【必要(Eメール添付)書類】

- 願書(PDF)
- 実務経験証明書(PDF)
- 住民票(2ヶ月以内に発行のもの)(PDF)
- 顔写真データ(JPEGで解像度は350dpi程度、ファイル名に氏名を記載、容量は2Mまで。)

【願書の記載内容について】

- 氏名の漢字及び住所は住民票と同一か
- 実務経験年数は実務経験証明書と同一か
- 氏名欄に押印があるか
- 写真は次の指定のものを貼付しているか
 - サイズ 縦4.5cm×横3.5cm(パスポートサイズ・カラー写真)
 - 3ヶ月以内に撮影したもの
 - バックが無背景のもの(無地で、人物の影、景色等他の物が写っていないこと)
 - 人物の写真が鮮明で、明るさやコントラストが適切なもの
 - 帽子、ヘアバンド、リボン、黒又は濃い色のレンズのメガネ、マスク等を着用していないもの
 - 正面向きで上半身のもの

【実務経験証明書記載内容について】

- すべての項目が記入されているか
- 証明者欄の記入・押印があるか
- 実務経験工事は、斜面防災工事か
- 従事の期間に重複がないか
- 従事の期間は工期ではなく、実際に従事した期間が記入されているか
- 主な業務内容は具体的に記載しているか
- 5年以上の実務経験年数、1年以上の指導監督的実務経験があるか